

定例記者会見 市長コメント（概要）

① 新型コロナウイルス感染症対策について

釜石保健所管内における8月の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は1,025名に上ったが、9月の管内の新規感染者数は625名と減少に転じ、10月に入ってから10月24日現在で253名と大幅に減少している。

このように新規感染者は減少に転じているが、管内の新規感染者は日々確認されている。これからインフルエンザの流行期を迎える時期でもあるので、市民の皆様には引き続き基本的な感染防止対策の徹底に努めていただくようお願いする。

また、9月26日からは全国一律に感染者の全数把握の簡略化に伴い、65歳未満の方や重症化リスクが高くないと判断され、医師からの届出がない方については、保健所からの個別の連絡等を行わない事となっているので、症状の有無など状況に応じて定められた療養期間を適切に判断し、療養期間中は毎日の検温やマスクの着用をはじめ、高齢者やハイリスクの方との接触を避けるなど、感染予防行動を徹底していただくようお願いする。

次に、10月16日現在での新型コロナワクチンの接種状況についてである。

2回目の接種から5か月以上経過した5歳以上の方への3回目の追加接種の接種率は79.5%となっている。

また、4回目の追加接種の状況については、60歳以上の方の接種率は84.2%となっている。

なお、オミクロン株に対応したワクチンの追加接種は、国の方針に沿って2回目から4回目の接種を終え、最後の接種から5か月を経過している方を対象として、10月29日の土曜日から、毎週土曜日と日曜日にイオンタウン釜石を会場として集団接種を行うこととしている。

さらに、今月21日から接種間隔が5か月から3か月に短縮されたことを踏まえ、11月からは、木曜日の午後を追加し集団接種を行うこととしており、できる限り年内に接種が完了できるよう取り組んでまいります。

この度、初回接種の対象に追加されることとなった生後6か月から4歳までの乳幼児の接種は、特例臨時接種期間として国から示されている令和5年3月末までに、3回目の接種が終えられるよう釜石医師会及び関係医療機関のご協力をいただき接種機会を確保の上、保護者の方に案内することとしている。

次に、現在実施している新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮されている方への支援や、国の緊急対策としての「子育て世帯への支援」のほか、地域経済の活性化を図るための事業者支援等については、別紙資料の1にまとめているのでご参照願う。

② 原油価格・物価高騰対応支援策の追加について

原油価格・物価高騰の影響が継続していることから、この度、国及び県の支援策の追加が決定したので、本市としての今後の対応についてご説明する。

まず、国の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業」についてである。

9月20日の閣議において物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し1世帯あたり5万円の給付金を支給することが決定した。

この給付金の支給対象となる世帯は、9月30日現在において住民基本台帳に登録されており、世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯のほか家計急変世帯となっている。

支給手続きについては、先に実施した「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」に準じたものとなっている。

次に、岩手県の補助事業を活用して実施している「子育て世帯支援給付金事業」であるが、県において9月分の児童手当受給者等を対象として、世帯の所得による制限を設けずに中学生までの児童1人につき1万5千円の追加支給を可能とする補正予算が成立したので、当市においても、この補助事業を活用して2回目の給付を実施したいと考えている。

これから年末を迎えることから、いずれの給付金についても年内には支給を開始できるよう、早急に準備を進めてまいる。